

しもすわ未来議会(一般質問 要旨)

各議員はそれぞれの学校の代表として、下諏訪町の「まちづくり」について様々な意見や質問をぶつけてくれました

議席8番 林 優志 議員 (下諏訪中学校) ～子育てをしやすい街づくりについて～

林 議員 下諏訪町としておこなっている特色ある子育ての取り組みは何か。また、空き店舗やボランティアを活用した託児所の設置、諏訪地域の連携など色々な取り組みが出来ないかと提案しました。

町長 子育て応援カードやファミリーサポート事業、ふれあいセンターポケットの設置など様々な取り組みで子育てのしやすい環境づくりをしている。空き店舗活用については、安全を考慮した施設、法律に沿った対応をしなければならず難しい。現在、地域連携として勤務地の保育園に通園出来る広域入所をおこなっており、今後も町単独では難しい取り組みは諏訪広域連携して検討したいと回答した。



議席6番 平瀬 摩綾 議員 (下諏訪社中学校) ～長野県内で一番きれいな町を目指して～

平瀬議員 下諏訪町を長野県一綺麗な町にするために「モラル向上デー」を決め町民が皆でゴミ拾いをする日にしたらどうか。また、拾ったアルミ缶を集め、お金の換えて困っている人の為に使う基金にしたらどうかと提案しました。

町長 現在ゴミ拾いは社中の他、下中や向陽高校でも取り組んでいる。また湖沼連中心に湖岸清掃もおこなっている。そういった活動をより拡充していけるか検討したい。また、ゴミの捨てづらい町、ゴミを出さないまちづくりも必要である。そういった事も頭に入れて、今後も取り組みをお願いしたい。アルミ缶集めについても大切な事なので、取り組みが出来ないか検討したいと回答した。



議席9番 渡邊 空美 議員 (下諏訪社中学校) ～スポーツによる町の活性化について～

渡邊議員 小学校から参加できるスポーツ教室の開催をして欲しい。また、施設の無料化や割引制度についてはどうか。各家庭で不要になっているスポーツ用具を集め、貸し出すなどしたらどうかと提案しました。

町長 行政だけで教室を開催するのは難しい。体育協会にて各種教室を開催しているので、そこに参加して欲しい。施設の利用料は、公平性の観点から全てを無料には出来ない。減免の制度含め現状でご理解を。不要な用具の貸出しについては、使えない用具が集まるなど課題も多く不安。行政がおこなわなくても家庭間で引き継げる、そんなまちづくりをおこなっていききたいと考えていると回答した。



議席7番 小口 和馬 議員 (下諏訪中学校) ～教育問題について～

小口議員 3年生になる時に生徒数減少のためクラス替えがあり、悲しい思いをした。国や県の条件に合わなくなった場合でも、是非、生徒との意見交換の場を設けて欲しい。また、学校が古く敷地も狭いので災害時に非常に不安。町としての対策はと質問しました。

町長 クラス替えが皆さんにとって、大変重要であり、かつ負担をかけてしまうことは十分理解しており、皆さんに説明しながら、意見を聞きながらおこなう必要性は感じる。しかしどうしても乗り越えられない制度というものがある事も事実であり、その点は理解して欲しい。校舎は古くなっているが、耐震化は済んでおり、今後は屋内運動場の吊り天井等の落下防止対策をおこなう予定であると回答した。



議席3番 宮坂 僚真 議員 (下諏訪社中学校) ～読み聞かせや読書活動について～

宮坂議員 下諏訪町の読書週間や家庭一斉読書の日についての考え方、読み聞かせ拡充による世代間の交流についてなど「中学生」という難しい時期ならではの気持ちもふまえて質問、提案をしました。

町長 下諏訪町では、若いうちに沢山の本に親しんでもらいたいという事で様々な取り組みをおこなっている。読み聞かせに関しては中学生の取り組みに感謝すると共に、非常に大切な活動なので、教育委員会とも相談しながらおこなっていききたい。また、家庭一斉読書については家族で一緒にとこだわらず、本に親しむ事、また、本について何かしらの活動をおこなって頂く事でも十分ではないかと回答した。



議席1番 奥出 清美 議員 (下諏訪向陽高校) ～みんなが安心できる道路などの整備について～

奥出議員 皆が安心して外出できる様に、例えば坂道に手すりやポールの設置をしたらどうか。また、夜に暗い場所がまだ多いので青色街路灯を設置するのはどうか。あわせて、駅構内のロータリーなどの整備をして欲しいと提案しました。

町長 下諏訪町の道は道幅も狭く坂も多い。設置することで人によっては危険や邪魔になることもあり、全ての場所というわけにはいかない。場所を選定し設置していければ。青色街路灯は日本ではまだモデル設置段階。自然色ではないため課題も多い。現在LED化を進めており、それで安心安全なまちづくりとしたい。駅については町だけでは出来ないで駅長と相談しながらと回答した。



議席4番 上條 雄也 議員 (下諏訪中学校) ～下諏訪町の将来について～

上條議員 不景気や人口減少、観光客減少対策として、下諏訪町の財産の一つであるボートを中心に、体力づくりやリハビリ等をおこなう医療関係、宿泊や温泉施設と連携し、健康を育てる町として情報発信し様々な形で利用者、観光客を勧誘できないか提案しました。

町長 特色のあるまちづくりは非常に大切です。体力づくりに関しては、町がおこなっている健康スポーツゾーン構想と重なる部分が多いと思う。高木から漕艇庫周辺までは構想により施設などの整備を進めている所である。また、ボートだけではなくより軽量でお年寄りや子どもでも扱えるカヌーの普及も考えている所である。医療との連携や情報提供については、今後研究をしていききたいと回答した。



議席2番 丸茂 七菜 議員 (下諏訪向陽学校) ～様々な世代の方ともしっかりと交流を盛んにするために～

丸茂議員 駅利用者やお年寄りなどが利用できる休憩の場や空き店舗を利用した施設を駅周辺に設置できないか。待ち時間を利用しての勉強、お年寄りの休憩、子どもの迎えなどで利用しそこから様々な世代間で交流が出来るのではと提案しました。

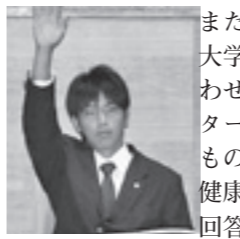
町長 現在下諏訪駅前にはそういった利用が出来る大きな施設は残念ながらありません。駅の構内に公園を整備する事も一つの方法である。また、以前に向陽高校の生徒が主体で向陽テラスという事をチャレンジ事業でおこなっていた事は記憶に新しい。場所の問題もあるが、地域連携事業もあわせて具体的な提案があれば町としても十分バックアップできるのでないかと回答した。



議席5番 小林 颯斗 議員 (下諏訪向陽学校) ～下諏訪を健康な町に～

小林議員 町の健康のために、幅広い世代で参加出来るウォーキングイベントを開催してはどうか。他自治体と協力し諏訪湖畔のジョギングロードでおこなえば、健康づくりとあわせて豊かな自然を肌で感じてもらえるのではと提案しました。

町長 ジョギングロードは赤砂崎の整備が完成すると諏訪湖1周が整う。岡谷や諏訪市など広域で協力してイベントを開催することは可能なので、検討してみたい。また、町ではインターバル速歩を信州大学と協定を結んで推進している。あわせてボートの練習で使うエルゴメーターという器具があるが、こういったものとウォーキングを組み合わせると健康づくりをより推進していければと回答した。



今日の想いを忘れずに

皆さんがそれぞれに思いを込めて提案いただいた内容について、本当に身にしました。それぞれの意見を出せるだけ参考にさせて頂いていただき、より住みやすい下諏訪町にしていきたいと思えます。

しかしながら、町を造っていくのは行政だけではない。町民の皆さんと共に、物事を考え作り出していく。その力が無ければ良い町にはなりません。ぜひ皆さんも、本日のように、日頃から自分に何が出来るのか、そういった視点を持って生活していただきたいと思います。それが大切であり、私の願いでもあります。本日は素晴らしい提案を本当にありがとうございます。

町長の講評より



質問と答弁の全容については、町のホームページで「しもすわ未来議会会議録」を掲載します。